

Doc. No.: NR151210

2015年12月10日
株式会社SCREENホールディングス

プリントドエレクトロニクス向け超精密印刷装置を開発 ～電子デバイスの量産に対応するトータルソリューションを提供～

株式会社SCREENホールディングスはこのほど、複雑な電子回路の一括形成を可能にするプリントドエレクトロニクス（以下、PtE）向け超精密グラビアオフセット枚葉式印刷装置「UP-5000S」を開発しました。これまでPtEの技術では困難とされてきた精密な電子回路の量産を可能にするこの装置の販売を、2016年1月に開始。世界初の技術として2015年11月に発表した、PtEによる電子回路の一括形成を実現する超精密グラビアオフセット印刷用平版「HA-3000」の供給や、回路パターンに応じた最適なプロセスの提供などと併せ、PtEのトータルソリューションを提案します。

UP-5000S

☆この画像の印刷用データ（解像度300dpi）は、
下記URLよりダウンロードできます。
(www.screen.co.jp/press/nr-photo_2014-2015.html)



販売開始予定	2016年1月5日
--------	-----------

近年、ウェアラブル端末や有機EL照明などのさまざまな電子デバイスの量産において、印刷技術を活用し、簡易かつ低コストで製造できるPtEの技術に注目が集まっています。その中でも、今後、需要の高まりが予測される精密な電子デバイスの製造には、複雑で微細な回路形成が可能なグラビアオフセット方式が適しているとされています。しかし、線幅の異なる回路を一括形成する場合、転写不良による断線や、膜厚が安定しないことが普及を妨げる要因となっています。また、試作ベースでの生産運用が多くを占めていることから、品質管理が難しく、印刷準備に時間を要することなども課題となっていました。

このような動向を受けて当社は、2015年11月、世界で初めて超精密で複雑な電子回路を一括形成する技術を発表。さまざまな線幅が混在する回路の量産に適した超精密グラビアオフセット印刷用平版「HA-3000」と共に、PtE向け超精密グラビアオフセット枚葉式印刷装置「UP-5000S」の開発を進めてきました。「UP-5000S」は、当社が印刷業界で長年培ってきた印刷・製版のノウハウと、半導体・液晶関連の製造装置で高く評価されている搬送・制御技術を融合し、従来は作業者の感覚に頼っていた印刷前準備を自動化。基材セット時の位置調整やブランケットの印圧調整など装置のダウンタイムを短縮し、量産に対応できる生産性を実現した装置となっています。

当社は、この「UP-5000S」ならびに印刷版の販売を2016年1月から開始するとともに、印刷周辺機器の開発や、環境に応じた生産プロセスの改善支援など、トータルソリューションを提供していく予定です。そして今後も、電子デバイス業界のさらなる発展に貢献し、PtE分野のリーディングカンパニーを目指していきます。

* この装置は、2016年1月27日（水）から29日（金）まで東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「プリンタブルエレクトロニクス2016」でご紹介します。

●本件についてのお問い合わせ先

株式会社 SCREENホールディングス 広報・IR室 Tel: 075-414-7131 Fax: 075-431-6500 URL: www.screen.co.jp